

奈良市 手をつなぐ親の会だより	NO 372	令和元年9月6日(金)	
	発行	奈良市手をつなぐ親の会	
	会長	小西 英玄	
	所在地	〒631-0801 奈良市左京5-3-1 奈良市総合福祉センター内	
	Tel 0742-71-0770	http://naraoyanokai.info/	

居 場 所 ～ (いい場所) ～ 感情と空間

サマーカーニバルが終われば“秋”の到来。春咲きコンサートが終われば、“春”の訪れ。
奈良の季節と共に福祉が動いています。9月から『春咲きコンサート』の準備が始まります。



皆さまには「居場所」がありますか？ 私たちの子どもに「居場所」はあるのでしょうか？

奈良市社会福祉協議会「2019 地域課題解決にむけた居場所づくり応援プロジェクト」

何らかの課題を持つ当事者の方々が、人とのつながりを通して、地域社会の中で安心して暮らしていくことができる“場”づくりを支援するための取組で、今年で3回目です。

社会全体の問題

大川靖則元市長が「障害者問題は当事者だけの問題としたらあかんねん。社会全体の問題にせなあかんねん」とよく言われていました。

居場所とは

「安らげる場所」「自由な時間」「日常から離れる場所」「たまり場」「仕事と家庭以外の場所・時間」「いきいきと過ごせる場所・時間」「なごさ」

子どもの貧困対策として「子ども食堂」。認知症対策として「認知症カフェ」が NPO 法人やボランティア団体、社会福祉協議会等の活動で拡がりつつあります。

2025年問題、子どもの貧困が社会問題として、認識されてきた証だと思えます。

ただし、始めの一步。民間レベルの活動には限界があります。子ども食堂／認知症カフェは絶対必要です。しかし、あくまで手段です。目的は公助の施策です。子どもの貧困は学習障害児につながるデータがあります。

私たちの子どもに置き換えたら

子ども食堂／認知症カフェどちらも、当事者が設立・開設したわけではありません。

市民のかたが、必要を感じ組織で取組を始めておられます。私たちの子どもの場合は、社会福祉の事業として、給付金が入る仕組みが出来、事業所が増えてきましたが、親の会活動のように無認可の作業所を市民の方が設立・運営されたことはなかったと記憶します。つまり、私たちの子どもの問題は社会全体の問題になり得ていなかった証です

今の施設。私たちの子どもの居場所になっているのでしょうか？

「自分が他人によって必要とされている場所であり、自分の能力を社会的に発揮することが出来る場所」
…社会的居場所

「自分であることをとりもどすことの出来る場所。そして、安らぎを覚え、ほっとすることの出来る場所」
…人間的居場所。

障害者支援施設。社会的居場所・人間的居場所の機能が備わっているでしょうか？

私たちの子どもが利用する福祉施設。居場所という概念からみると…

会員の皆さまも居場所づくりが必要では…